

★当期に限り、会場が「ゆめりあ うじ」（JR宇治駅前）に
「開催曜日」が「金曜日・土曜日」に変更になります。

*これまでの会場「生涯学習センター」は 改修工事の影響で約6ヶ月休館となるため

市民による、市民と地域のための大学

宇治市民大学



会場 ゆめりあ うじ

（宇治市男女共同参画支援センター）

令和八年度後期「歴史コース」

テーマ「古代、国家の形成④」～律令国家の完成～」

◆受講料

各講座一回 七百元

五枚綴りチケット 二千八百円

《歴史コース》と《宇治学コース》

で使えます。

九月～十一月の講座日に販売

◆定員 先着 百名

◆申込み

講座日、会場で受付致します

事前申し込み不要

◆問合せ

☎090・8988・4383

宇治市民大学事務局 丸山

*「ゆめりあ うじ」には、専用の

駐車場はありません。公共交通機関をご利用下さい。

第1講 9月4日(金) 午前10時～11時半
聖武天皇と恭仁宮（京）・紫香楽宮
（甲賀宮）への遷都とその実態
滋賀大学名誉教授
小笠原 好彦さん

第2講 10月 9日(金) 午前10時～11時半
聖武天皇 ～大仏造立の夢～
京都女子大学名誉教授
瀧浪 貞子さん

第3講 11月 7日(土) 午前10時～11時半
古代社会の酒と労働
京都産業大学文化学部教授
吉野 秋二さん

第4講 12月 12日(土) 午前10時～11時半
奈良時代の都鄙（とひ）間交通
大阪大学人文学部研究科
日本史研究室教授
市 大樹さん

第5講 1月 8日(金) 午前10時～11時半
遺跡から見た奈良時代の京都
京都市文化財保護課係長
堀 大輔さん

日本の律令制

中国の制度を参考に設立され、七世紀後期（飛鳥時代後期）から十世紀頃まで実施された。開始後約一〇〇年間（八世紀後期まで）は経済・軍事に関してはほぼ設立時の制度に忠実に従った国家運営が行われた。（律令国家・律令体制・律令時代）。

講師からのひとこと

9/4(金) 聖武天皇と恭仁宮(京)・紫香樂宮
(甲賀宮)への遷都とその実態 小笠原 好彦さん

740年(天平12)10月、聖武天皇は平城宮(京)から、にわか山背の恭仁宮(京)へ遷都しました。さらに、その5年後、廬舎那仏を造立していた近江の紫香樂宮の地に遷都した要因を、発掘成果から考えてみます。

10/9(金) 聖武天皇 瀧浪 貞子さん
～大仏造立の夢～

聖武天皇といえば、ひ弱で、優柔不断の天皇というイメージが強いのではないかと。生母の宮子だけでなく、妻の光明子までもが藤原不比等の娘であることから、藤原氏に遠慮し、天皇としての意志を持つことが殆どなかったと理解されてきたからである。しかし、聖武ほど強烈な帝王意識を持った天皇も数少ない。聖武が理想としたのは国家の基礎を築いた曾祖父天武であり、その思いは東大寺の大仏造立に込められている。史料をたどりながら、聖武天皇の実像を考えてみたい。

11/7(土) 古代社会の酒と労働 吉野 秋二さん

古代社会において、酒は、神への供え物であると同時に、人びとの労働を支える報酬でもありました。文献や出土文字資料から、酒づくり、支給、宴の姿を読み解き、働く人びとの暮らしと地域の歴史に迫ります。

12/12(土) 奈良時代の都鄙間交通 市 大樹さん

「すべての道はローマに通ず」という言葉があるように、古代国家は中央集権的な体制を構築するために、中央と地方を結ぶ交通路を設置し、駅伝制度などの交通制度を整備しました。これは日本も例外ではありませんでした。この講座では、法制史料など史料を使って制度的な枠組みをおさえた上で、正倉院文書や木簡などのナマの同時代史料も使いながら、奈良時代における中央―地方間(都鄙間)交通の理念と実態について考えてみます。

1/8(金) 遺跡から見た奈良時代の京都 堀 大輔さん

千年の都と世に謳われる京都ですが、平安遷都以後のことは様々な角度から語られているものの、その一つ前の時代である奈良時代にどのような姿であったのかについては、意外にも明確なイメージがありません。本講では、これまでに発掘された奈良時代の遺跡や遺物を元に、平安遷都前夜の京都について考えてみたいと思います。